

結果の概要 小学校社会

全体的な傾向

- 昨年度と類似の問題については、全体的に改善がみられるが、依然として思考・判断に課題がある。
- 自分の考えをまとめて表現する問題については無答が多く、指導法の工夫改善が必要である。
- 第4・5学年とも、資料等から読み取った情報をもとに思考・判断することに課題がみられる。
- 第6学年では、歴史的事象の特徴を関連づけて知識・理解を深めることに課題がみられる。

1 出題のねらい

- ①昨年度の課題を受け、正答率の低かった設問について改善や、各内容領域の基本的事項の定着をみることができるよう出題の工夫を行った。
- ②昨年度出題できなかった内容領域を取り上げるとともに、選択問題を設定した。
- ③社会的な思考・判断、観察・資料活用の技能・表現、社会的事象についての知識・理解の各評価観点について、バランスを考慮して出題した。

2 学年別結果の概要

【第4学年】

内容領域	正答率
3・4年「地域の様子」	66.6%
3・4年「生産や販売の工夫」	67.7%
3・4年「健康な生活の維持と向上」	65.1%
3・4年「安全を守る工夫」	86.5%

【第5学年】

内容領域	正答率
3・4年「地域の様子」	73.6%
3・4年「安全を守る工夫」	77.1%
3・4年「地域の人々の生活」	89.3%
3・4年「県の様子」	68.4%
5年「我が国の農業や水産業」	71.5%

【第6学年】

内容領域	正答率
5年「我が国の農業や水産業」	69.8%
5年「我が国の工業生産」	77.9%
5年「我が国の通信」	53.9%
5年「我が国の国土の自然」	82.0%
6年「我が国の歴史」	69.2%

評価の観点	正答率 (%)		
	4年	5年	6年
社会的事象への関心・意欲・態度	64.5	75.6	65.2
社会的な思考・判断	65.0	75.1	70.6
観察・資料活用の技能・表現	77.4	72.3	76.2
社会的事象についての知識・理解	74.6	76.7	65.0

3 今回のテスト結果からみた特徴

- 第4学年における、食品など製品をつくるための工夫 (2)(3) や、廃棄物処理と環境への配慮 (2)(4) について学んだことをもとに思考・判断する問題に関する正答率は、低い状況にある。
- 第4学年における、廃棄物を資源として活用する仕組みの理解についての問題 (4)(3)② や、第6学年における、歴史的事象を他の事柄と関連させた知識・理解についての問題 (6)(2)、(8)(2) の正答率は、低い状況にある。
- 第4学年における、消防署の仕事等安全を守る工夫についての問題 (6)(1)ア・イ) の正答率は、他の内容と比べて高い状況にある。
- 第5学年における、地域の人々の昔の暮らし (3)(1)(3)、第6学年における古代と近世の歴史の問題 (5)(1)・(9)(1)(2) についての正答率は、他の内容と比べて高い状況にある。
- 昨年度、第4学年において課題のあった地図記号の理解については、本年度、第5学年において改善がみられる。
- 第5・6学年における情報収集の方法等について総合的な判断が必要な内容の問題については、昨年に引き続き、課題がみられる。(第5学年(6)(1)、第6学年(3)(1))